

マラリアの恐怖を体感

**FEEL MALARIA**

**promotion**

ご賛同・ご協力いただける皆様へ。

2015年4月

マラリア・ノーモア・ジャパン

## 「FEEL MALARIA promotion」について

我々、特定非営利活動法人マラリア・ノーモア・ジャパンは、発展途上国において1分に1人の命を奪っているマラリアの被害を、かつてマラリア被害を克服した先進国である日本の皆さんに知って頂くことを目的に、マラリア原虫が発見された8月20日「World Mosquito Day」より、マラリアの恐怖を体験させるプロモーション「FEEL MALARIA promotion」を実施しています。

エイズ、結核とならび世界三大感染症の一つのマラリアは、今なお、アフリカやアジアなどでその猛威を振るい、世界人口の約半分がマラリア感染の脅威にさらされ、1分間に1人、幼い子どもたちの命を奪っています。日本においては、2014年夏、デング熱感染が話題になりましたが、まだまだマラリアは、実感できないものです。

「FEEL MALARIA promotion」は、マラリア蚊に模したシールを、“まさに蚊のように”そっと、わからないように近づき、貼り、その後マラリアシールを貼られた方を追いかけて事情説明して、マラリアの恐怖を体感してもらうものです。シールには、『このシールぐらいマラリアの感染は気づきにくい。1分に1人のいのちを奪うマラリアの根絶に、あなたの力を。』と書いてあり、8/20に実施した際も、貼られたみなさんは、気づかないうちに貼られたこと、それと同じマラリアの恐怖を感じ、驚きを隠せずにいました。



実施の様子を撮影・編集した映像をYOUTUBEで公開していますので、是非ご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=Cc2d2exiksk>

## 「FEEL MALARIA promotion」ご協力いただくにあたり

我々、特定非営利活動法人マラリア・ノーモア・ジャパンは、マラリアの恐怖を日本国内、ひいてはアジア、世界へと広げていくために2014年8月20日『WORLD MOSQUITO DAY』より使用している「FEEL MALARIAシールシート」をご賛同・ご協力いただける企業・団体様へ提供させていただいております。

「FEEL MALARIAシールシート」は日本語版と英語版があり、

「FEEL MALARIAシール」をつかった特別授業や教育プログラム、企業研修など、当運動にご協力いただけたら幸いです。

また、実施の際にはトラブルなきよう、当マニュアルをご精読の上、実施ください。

シールはMalaria No More Japan事務局にご連絡いただければ、必要な枚数をお送りします(シール代金と送料のみ発生します)。



### 【免責事項】

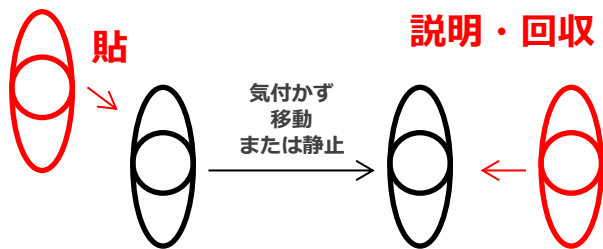
FEEL MALARIAは、特定非営利活動法人Malaria No More Japan(以下MNMJといいます)が企画したイベントキャンペーンです。趣旨にご賛同いただき、当イベントを実施されるにあたりましては、全て各自の責任において行うようお願い致します。

1. 利用者による当マニュアルのご利用により生じる一切の損害(精神的苦痛、またはその他の金銭的損失を含む一切の不利益)につき、責任を負わないものとします。
2. MNMJは、当マニュアルをご利用してイベントを実施することによって生じるどのような損害に関しても、一切責任を負わないものと致します。MNMJは様々な場面での実施を想定し、当マニュアルを通じて実施のために必要な情報をご提供する為の努力をしておりますが、当マニュアルで提供する情報の完全性、正確性等のどのような保証も致しておりません。
3. MNMJは、当マニュアルおよびイベントキャンペーンに関連する全てのサービスまたは一部のサービスを一時的に停止、または中止をすることが出来るものとします。また、可能な限りホームページ上で予告致しますが、サービスの停止並びに中止に関して、利用者への事前・事後の通知義務がないものとし、それによって発生した直接・間接的な損失・損害に対し、MNMJは一切責任を負わないものと致します。当マニュアルをご利用される方は、上記事項全てをご理解の上、ご承諾下さったものとさせていただきます。

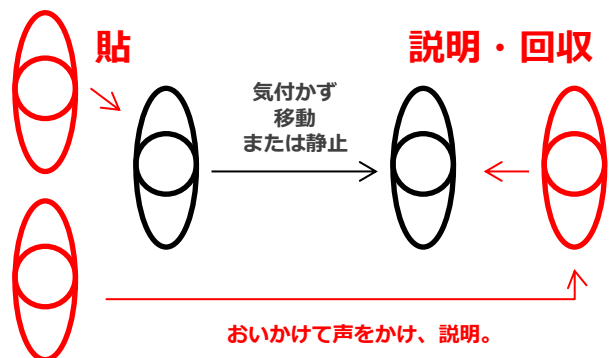
# 「FEEL MALARIA promotion」実施にあたり留意いただきたい点:その1

- ・「FEEL MALARIAシールシート」はあくまでも「マラリアの恐怖」を実感し、マラリアについて学ぶ教育目的のツールです。遊び目的での使用は固くお断りさせていただきます。
- ・実施の際は、「シールを貼る役」「シールが貼られていることを明かし、説明する役」の2人以上での実施を推奨しています。
- ・シールが貼られていることを明かし、説明する際は、別紙「説明ボード」を用いて説明いただけると効果的です。
- ・実施パターンは以下の3つのパターンが想定されます。状況に応じて、臨機応変にご対応いただけたらと存じます。
- ・実施にあたり、出演の許可をいただきましたら、撮影部隊を派遣させていただき、実施の様子を撮影させていただけたらと存じます。別でカメラ担当者をつけて、その様子を撮影いただき、マラリア・ノーモア・ジャパンへ送付いただいても結構です。
- ・当活動は、マラリアの恐怖を啓蒙するためのものですが、シールを貼られた方への対応には、十分に注意する必要があるため、必ず上のおり、十分な説明と真摯な態度で行っていただく必要があります

【パターン1】待ち受け説明

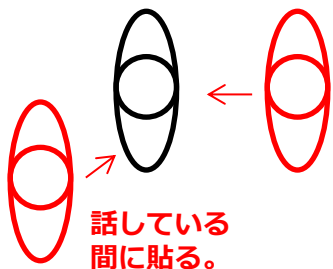


【パターン2】追いかけて説明



【パターン3】説明している間に貼る

マラリアの恐怖に関して話し  
貼られたあとに説明・回収。



- ・「シールを貼る役」は、そっと、気づかれぬように、貼りましょう。「貼る」というより「置く」つもりで貼っていくと気づかれぬように貼ることができます。衣類上への貼付ができれば、実際の蚊のように素肌への貼付もチャレンジしましょう。
- ・「シールが貼られていることを明かし、説明する役」は真摯な対応が必要です。別紙「説明ボード」を手に①身分②目的③貼られていることを明かし、感想を聞いてください。感想は④気づいたか気づかなかったか⑤マラリアの恐怖についてどう思うかを聞いてください。また、説明の後、シールは回収してください。
- ・取材・撮影のご協力がいただけるようでしたら、撮影部隊を派遣させていただきます。また、別でカメラ担当者をつけて、その様子を撮影していただき、マラリア・ノーモア・ジャパンへ送付いただいても結構です。



## 「FEEL MALARIA promotion」実施にあたり留意いただきたい点:その2

- FEEL MALARIA promotionをみなさまが実施くださることは、ボランティア活動となります。そのため、実施環境についてもご留意ください。
- 街中や商業施設など人が多い場所での実施は、管理者や最寄りの警察等への届け出を行ったうえでの実施をお願いします。
- 企業・団体内で実施する際も、以下についてご留意の上実施ください。
  - \*いきなり大規模に多くの人に向けて実施は避け、まずは、近くの親しい友人に向けて実施を推奨します。実施前後で「自分も、マラリアの脅威の事を知って興味をもち、キミにも知ってほしくてこのシールを使った。」と、ご説明いただけたらと存じます。
  - \*就業時間内での実施は避け、もし、どうしても実施したいという場合には、実施について、上司か、職場のCSR担当、ボランティア活動関係者に確認をとった上での実施をお願いします。その際も、就業時間以外、例えば、朝、昼休み、アフター5(残業時間中を除く)で実施を推奨します。
  - \*職場のイベントの一部でサプライズ的に実施する場合は、イベント企画者と十分に相談の上、実施しましょう。サプライズとしても、必ず、なぜこのプロモーションを実施したのかについて真摯な説明が必要です。  
なお、職場イベントして実施する際、都内の大きなイベントなら、マラリアノーモアジャパンから事前説明の機会を持たせていただくことも可能ですのでお声掛けください。
  - \*お酒の席での実施は童心にかえってシールを貼り合うなど、楽しい場が想起されますが、無用なトラブルを助長する可能性がありますので、ご注意ください。





世界中の97の国と地域で感染がみられ、  
世界人口の約半数にマラリアのリスクがあります。  
2013年の患者数は約2億人、年間58万人が  
マラリア感染により亡くなっています。

【問い合わせ】

特定非営利活動法人マラリア・ノーモア・ジャパン

千代田区麴町三丁目7番地4 秩父屋ビル8階  
(株式会社販売促進研究所 内)

03-3230-2553 [feel-malaria@nmnj.asia](mailto:feel-malaria@nmnj.asia) (担当:飯塚・長島)